

地震で失ったもの、伝えるべきもの、そして活かさなければならぬもの

1995年1月17日5時46分に発生した兵庫県南部地震は多くの貴重なものを奪いました。経験したことのないほどの都市直下型の地震によって阪神高速道路も甚大な被害を被り、想像を絶する状況を目の当たりにすることになったのです。悲しみと混乱の中、人命救助、緊急対応、早期復旧が私たちの使命となりました。

同時にこの被災を後世に伝える必要性を感じ、その一環として被災した構造物を体系的に抽出し保管する決断をしました。ここに保管されている構造物は、地震の凄まじいエネルギーを彷彿させるものであり、これまで仮想でしかなかった実物の壊れ方を証明するものです。

自然の猛威に太刀打ちすることはできませんでしたがその後の人間の英知と力により街は甦ることになります。この施設では、地震の証を残すだけでなく、地震発生から全線復旧までの623日間の緊迫した時間と関係者の対応も伝えようとしてきました。さらには、この震災を教訓にした、新たな技術、災害支援や防災教育の取り組みも紹介しています。

地震は避けることができません。しかし、この施設によって情報の伝達と共有が行われ、そしてそこから生まれる人間の英知によって、今後災害が少しでも軽減されればと私たちは切に願っています。また、私たち自身が、この施設を、安全・安心の原点を見つめ続けるための礎にしたいと強く考えています。活かさなければならぬことは限りないと思っています。



震災・復旧と施設のあゆみ

- 1995.1.17 兵庫県南部地震発生
3号神戸線 1カ所倒壊・4カ所落橋
5号湾岸線1カ所落橋
- 1995.2.7 3号神戸線応急対策推進室設置
- 1995.4.1 神戸線復旧建設部設置
順次撤去構造物を4号湾岸線
高架下(貝塚市地藏浜)に移設
5号湾岸線開通
- 1995.9.1 神戸線京橋-摩耶間開通
- 1996.2.19 神戸線柳原-京橋間開通
- 1996.7.17 神戸線摩耶-深江間開通
- 1996.8.10 神戸線月見山-柳原間開通
- 1996.8.31 神戸線深江-武庫川間開通
- 1996.9.30 神戸線深江-武庫川間開通
- 1999.10 神戸市東灘区深江浜に
震災資料保管庫完成
- 2009.12.18 震災資料保管庫リニューアル

施設概要

- 【面積】
1212m²
- 【展示構造物】
鋼上部構造物3カ所分、
RC橋脚6ヶ所分、
鋼製橋脚6カ所分、
支承一式
- 【パネル数】
エントランス3枚、
展示コーナー14枚、
プレゼンテーションルーム3枚
- 【模型】
7カ所

震災資料保管庫

Hanshin Expressway Earthquake Museum

— 1995.1.17 そして —



見学無料

詳しい内容、見学のお申込みはインターネットで
<http://www.tech-center.or.jp/japanese/hokanko/>

見学概要

地震の概要と復旧までの歩みを紹介するビデオ上映の後、実際の被災構造物を見ながら、係員が被災状況などについてご説明いたします。(所要時間:約1時間)

開館日

毎月第1・第3水曜日、日曜日

見学時間

1日3回(午前10:30、午後1:30、午後3:30)

アクセス

- 🚗 阪神高速5号湾岸線深江浜ランプから 約5分
※敷地内に無料駐車スペースあり
- 🚊 阪神電車深江駅から
タクシー 約10分
または徒歩 約30分



〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町11-1

大震災からの復旧と防災 <http://skill.hanshin-exp.co.jp/quake/>